

昭和村連合青年団(下)
昭和村ボランティアガイドの会

事務局次長 倉澤 新平

昭和三十三年十一月、糸之瀬村と久呂保村が合併し昭和村となったのに伴い、旧村の両青年団も統合され「昭和村連合青年団」が誕生した。新生青年団は、新しい村づくりの一助を担う組織として貢献してきた。

合併の翌年から開催された文化祭では、バザーに取り組んだ。他にも、村の史跡や各施設を守るため奉仕活動を積極的に行った。支部によっては夏祭りや秋祭りの運営などを担い、今では森下青年団のみとなってしまった秋の諏訪まつりや豊年まつりは、多くの青年団が取り組んだ。スポーツや芸能文化活動にも積極的に参加した。利根郡連合青年団が催した大会でも常に優秀な成績で、群馬県青年大会へも多く出場。努力と才能を發揮し、全国青年大会へも出場した。

スポーツの部では、剣道やバレーボール、弓道など、芸能文化の部では意見発表やコーラス、演劇など、文武両道で活躍した。中でも、昭和五十年に開催された第二十四回全国青年大会では、演劇の部で優秀賞、優秀舞

台美術賞、優秀脚本賞の三賞を受賞。群馬県で初の快挙であった。さらに、演劇では昭和五十三年の第二十七回全国青年大会に出場。優秀賞と優秀舞台美術賞に輝いた。大会では、同じく県代表になった弓道が全国優勝、バレーボールも三位と大活躍したほか、意見発表でも多くの仲間が全国大会に出場した。

その後も、連合青年団はプロの劇団によるミュージカル村内公演企画に取り組み、その収益金を村に寄付してきた。主催した夏休みファミリー映画祭では、収益金をルワンダ難民の救援募金にあて、地域のみならず世界にも貢献した。

一方で、青年団では先輩や後輩、仲間たちとの活動を通して団員同士が結婚で結ばれるという大きな役目も果たしてきた。

しかし、時の流れとともにその役目を終えたか、平成十四年度を最後に連合青年団はその活動に幕を下ろした。現在では、わずかに森下青年団の一団が活動するのみとなってしまった。活発だったあの昭和村連合青年団を再生するには、どうすればいいのだろうか…。

最終
（参考資料：群馬県青年団史・広報しょうわ）



地域包括支援センターだより

地域包括支援センターの運営変更について

これまで、地域包括支援センターは役場保健福祉課内に設置されていましたが、令和4年度より昭和村社会福祉協議会による運営に変更することとなりました。4月1日から、地域包括支援センターの場所や電話番号が変わりましたので、よろしくお願いたします。



- ▶所在地 昭和村社会福祉協議会内(糸井624番地)
- ▶連絡先 ☎0278-20-1126
- ▶営業日 月曜日～金曜日(国民の祝日と12月29日から1月3日までを除く)
- ▶営業時間 午前8時15分～午後5時15分

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんがいつまでも住み慣れた地域で生活できるように、介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から総合的に支援するところです。

「足腰が弱くなってきた」「もの忘れが多くなってきた」「介護サービスについて知りたい」「お金の管理や契約が不安」「親の介護や認知症が心配」「お年寄りを怒鳴る声がある」など、気になることや困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。



▶問合せ 村地域包括支援センター ☎20-1126